



SSH 平成30年度SSH生徒研究発表会

平成30年8月7～9日、神戸国際展示場(神戸市)にて平成30年度SSH生徒研究発表会が開催され、国内から(SSH研究指定校等)208、および海外11か国から26の高等学校(中等教育学校を含む)が参加しました。この研究発表会は文部科学省と科学技術振興機構(JST)が主催するSSH指定校の課題研究発表会で、今年も大勢の発表者・見学者等名が参加する国内最大級の発表会になりました。

本校からは、『高濃度溶液の凝固点降下』(化学分野)というテーマで、山崎大輔さん、白石竜聖さん(3年)、富永あゆみさん、藤野里彩さん、池田湧さん(2年)の5名が参加しました。ポスター発表審査では、審査員の前で落ちついて発表することができ、質疑応答も的確にできました。残念ながら、ステージ発表への選出は叶わず、香住丘高校3年連続入選とはなりませんでしたが、参加した生徒は多くの経験と新しい課題を見つけることができました。

基調講演は、“You can be a scientist from today!”と題して、TVなどでもお馴染みの数学者、東京理科大学 特任副学長 秋山仁先生による講演でした。数学の課題研究のネタ探しは意外と身近に豊富にあることや、実際に定理ができていく過程を実演してくださいました。



ポスター発表審査



東京理科大学 特任副学長 秋山 仁 先生

青少年のための科学の祭典 Youngsters' Science Festival

平成30年7月28・29日、科学技術館(東京都千代田区北の丸公園)で開催された「青少年のための科学の祭典・全国大会」に、物理部が招待され、課題研究の成果を発表しました。イベントでは、一般企業も含め70近くの団体が科学に関する実験等のブース展示を行いました。全国各地、子どもから大人まで2日間でのべ1万人以上の来場者が集まり大盛況でした。参加した本校生徒2名も、ポスター発表やステージ発表を行い、また他の団体の展示や演出に参加することで、科学に対する興味・関心が一層深まりました。



先端科学研修 I (数理コミュニケーションコース夏季研修)

平成30年8月7・8日、数理コミュニケーションコース1年生を対象に、先端科学研修を実施しました。高校に入学して初めてのSSH研修で、研修内容を事前学習して発表するまで多くの準備を行いました。多くの先生方のご協力と充実した事前学習で研修を深めることができました。

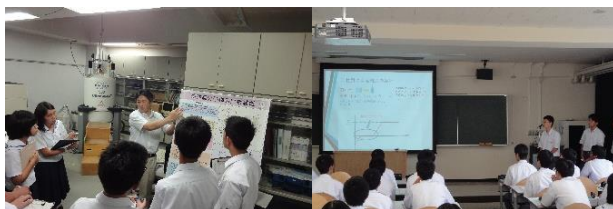
山口大学理学部研修

山口大学理学部大学院創成科学研究科

教授 白石 清 先生

理学部で使用されている様々な分析・測定機器を見学し、実際にどのような測定が行われているかを説明していただきました。

また、科学研究に関するキーワードで事前学習したことを発表した後、大学院生の皆さんによる研究内容の解説や懇談会を実施していただき、理学研究に対する理解を深めることができました。



健康科学の研究と研究者への道

山口大学教育学部家政教育 講師 森永 八江 先生



森永八江先生は香住丘高校第12期卒業生です。大学・大学院での研究や研究者になるまでの経緯について、講話をしていただきました。

参加者は研究内容が理解できるように事前に専門用語を勉強し、先輩に様々な質問をすることもできて、有意義な時間になりました。

電波で見た宇宙の姿

山口大学理学部時間学研究所 教授 藤澤 健太 先生

天文学の基礎となる電磁波の基礎知識や宇宙物理学など、興味深い内容の講義をして頂いた後、32m電波望遠鏡を実際に操作し、観察方法を解説して頂きました。また、KDDIパラボラ館を見学し、通信技術に関する学習を深めることができました。

